

# 令和3年度 遠野市地域未来投資推進協議会 会議記録

## 【開催概要】

- 1 日時 令和4年3月15日(火) 11:00～11:30
- 2 場所 遠野市役所 本庁舎3階 中会議室B・C
- 3 出席者

### (1) 構成員

会長	遠野市	産業部長	阿部 順 郎
	岩手県	県南広域振興局 経営企画部産業振興室長	熊谷 郁 夫
	遠野商工会	事務局長	斎藤 茂
	株式会社岩手銀行	遠野支店次長	杉村 貴章
	株式会社東北銀行	遠野支店長	備前 修
	国立大学法人岩手大学	三陸復興・地域創生推進機構 地域連携推進部長	早川 浩之

### (2) オブザーバー出席

	大野ゴム工業株式会社	遠野工場長	深沢 修 司 *
	一般財団法人 岩手経済研究所	地域経済調査部 主任研究員	久慈 千 春

\*オンライン出席

### (3) 事務局

	遠野市産業部	商工労働課長	永田 裕
		商工労働課主任	菊池 恵美子
		企業支援相談員	小笠原 愛美

## 【会議記録】

### 1 開会

(事務局 遠野市 永田商工労働課長)

只今から、遠野市地域未来投資推進協議会を開催する。進行は会長の阿部順郎産業部長にお願いする。

(会長 遠野市 阿部産業部長)

今回初めての参加になります。少々、お時間を頂きます。本日、テレビの報道でウクライナ問題、そこの半導体関連のサプライヤーのメーカーでネオン・クリプトン、いわゆる不活性ガスを使った半導体をつくるメーカーです。世界のシェアは50%、短期的には影響は出ないがこれが中長期的になると半導体製造そのものに影響が出ると、私は思っております。それから本日の岩手日報に金ヶ崎、10ヘクタール工業団地を整備する。これも半導体関係、自動車関連産業ということになっている。半導体に関しては、国が6000億円、

最終的には1兆1000億円の支援をすると去年の12月に総理が答弁していた。半導体については国防長のリスクがあるということで国が支援すると言いつつしていた。国防長のリスクはもちろんあるが、やはり自動車も色々なサプライヤーがあるが、それが集積するということは諸外国のリスクに備える意味でも重要な考えになってくると思っている。そういった意味では、大野ゴムが今回地域未来投資促進法に基づく地域経済けんいん企業という位置づけの中で地方創生推進交付金を活用しながら事業の見直しを、そして岩手の自動車産業の集積に一役かってきた取り組みをしている。国の補助金をつかうわけですから、一定の評価をしなくてはならない、今回の未来投資推進協議会が設立されたと私は思います。その意味では、大野ゴムのこうした取り組みは実は、もっともわが国で必要な企業のサプライヤーの集積というものを少しでも前進をさせていかなければいけないと考えているので、大野ゴムに続く企業が出てくることを懸念しながら、簡単ではありますがもわたくしのあいさつに代えさせていただきます。それから、報告書をまとめていただいた岩手経済研究所の久慈研究員には1年間、ご労苦をおかけしたとこの場をお借りして御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。以上であります。

## 2 議事

### (1) 議案第1号 令和3年度事業実施状況について

(会長 遠野市 阿部産業部長)

議事に入らせて頂く。次第の議事議案の第1号令和3年度事業状況について事務局の方から説明をお願いします。

(事務局 遠野市 永田課長)

－議案第1号のとおり説明－

(会長 遠野市 阿部産業部長)

只今の説明に対し、質問・意見を。

(構成員)

－なし－

(議長 遠野市 阿部産業部長)

議案第1号について挙手で承認頂くことでよろしいか。

(構成員)

－全員挙手－

(議長 遠野市 阿部産業部長)

議案第1号について承認頂いた。

### (2) 議案第2号 事業評価について

(議長 遠野市 阿部産業部長)

続いて、議案第2号について事務局から説明を。

(事務局 遠野市 永田課長)

－議案第2号のとおり説明－

(岩手経済研究所 久慈主任研究員)

－遠野市とおの成長ものづくり産業販路開拓状況調査業務報告書説明－

(議長 遠野市 阿部産業部長)

只今の説明に対し、質問・意見をどうぞ。

(岩手大学 地域連携推進部長 早川 浩之)

昨年はコロナで船の便が根詰まりしていたが、解消はしたのか。

(大野ゴム工業株式会社 深沢 修司)

コンテナは手配が取れない現状、コロナとは別で先ほど阿部部長からもありましたウクライナ情勢のところで間接的ではあるが(釜石港は直接関係ないが)当社の中でロシア向けの輸出がすべてキャンセルという状況になり、こちらの一部生産額と合同工業としての輸出、ビックフィールドを含めて直撃を受けている。

(遠野商工会 事務局長 齊藤 茂)

現状のコンテナの状況は不足しているというのはニュースでも様々言われているが、見通しとしてはそういう状況が続くのか。

(大野ゴム工業株式会社 深沢 修司)

まだまだ見通しは立っていない。コンテナの手配でも半年以上かかり、コンテナの値段が倍以上、1年間で4倍になっている。負担は大きくなるが、購入者が負担する契約になっているので当社として痛みはないが、やはり手配に時間とお金がかかる、さらに今後の見通しも立たない。さらにロックダウンをされているところ、東南アジアなどとの商談の間が大きい。

(県南広域振興局 経営企画部産業振興室長 熊谷 郁夫)

ロシアの輸出がキャンセルになり当面は厳しいと思うのですが、生産計画はすでに見直しているのか。

(大野ゴム工業株式会社 深沢 修司)

わが社としては、自社の部品になるのでロシア向けに売れなくても国内で売れたり、(損失としてはあるが)我々に大きな影響はない状態。

(議長 遠野市 阿部産業部長)

他に、ご意見・ご質問はないか。

(構成員)

ー特になしー

(議長 遠野市 阿部産業部長)

議案第2号について挙手で承認頂くことでよろしいか。

(構成員)

ー全員挙手ー

(議長 遠野市 阿部産業部長)

議案第2号について承認頂いた。

#### 4 その他

(事務局 遠野市 永田課長)

今後のこの協議会の位置づけですが、今年度もこの協議会としては予算の執行はございませんでした。この協議会を解散とするか、あるいは別の協議会、団体へ吸収させるかというところですが、遠野市でも別の地方創生の計画を今年度申請しているところでもあります。ここの協議会をどうするかという結論は、新年度に持ち越させて下さい。内示等の状況を見てから考えたいと思っております。また、ここでの協議会の外部評価機能も当面、会計検査がくるまでは

HP等の掲載をしておく必要があるものですから、維持したいと思います。実務的にどこに吸収させるかは、新年度に検討させて頂きたい。

(議長 遠野市 阿部産業部長)

他に何かございますか。

(構成員)

ーなしー

## 5 閉会

(事務局 遠野市 永田課長)

以上、協議会総会を含め会議の全てを終了とする。